

[広報]

# さめがわ

PUBLIC RELATIONS SAMEGAWA



### ■行政NAVI

農業委員・推進委員が決まりました  
中山間地域等直接支払交付金  
村づくり委員会発足ほか

### ■Close Up

災害対策 — 今、わたしにできること

### ■ほっとニュース

鮫川村消防団新入団員規律訓練  
チャレンジスクール木工教室を開講ほか

オオムラサキの成虫(オス) 役場前撮影

さめがわ  
August  
2020 8

令和2年8月1日発行(毎月1日発行)  
第796号(昭和27年9月創刊)

発行/福島県鮫川村 編集/鮫川村役場総務課  
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿 39番地 5



ぼく・わたしの夢 | [第54回] | 鮫川小6年生 |

円谷 翔しょうくん

星 将貴まさたかくん

湯座 愛斗まなとくん

## 今がんばって いること

**ぼ**くは、大人になったら宇宙飛行士になりたいです。宇宙船の中でいろいろな人の役に立つ実験をしてみたいです。

そして、今がんばっているのは勉強です。ぼくは算数と国語をがんばっています。目標は自分が目指す高校に合格することです。ほかに、朝校庭に出てなわとびやマラソンをがんばっています。これからも続けたいです。

## 中学校に 向けて

**ぼ**くの中学校の目標は、二つあります。一つ目は授業一つひとつを大切に、全教科をバランス良く学習し、目標の高校に行くことです。二つ目は、バレー部に入り大会で優勝することです。そのために、今やっている陸上や体育、習い事のハンドボールを通して、かたの力やジャンプ力、体力をつけていきたいです。これらの目標を達成できるよう頑張ります。

## 人の命を救う 消防士になる

**ぼ**くの将来の夢は、人の命を救う消防士になることです。そう思ったのは、火災現場に向かう消防士をよく見るからです。ぼくも地域みんなに信頼される消防士になりたいと思っています。

そのために、中学校や高校生になったら、火災のときどうするのかの知識をつけて、危険な状況になっている人の命を救いたいと思っています。

# 農業委員・推進委員が決まりました

7月20日、村の農地を守る委員の辞令交付が行われました。それぞれの委員は、村の農地利用や遊休農地の発生防止・解消のための大切な役割を担っています。この度決まった新しい委員を紹介します。(敬称略)

## 農業委員

■会長		■会長職務代理者	
			
藤田浩之 渡瀬	鷲野谷重一 富田	鈴木市恵 赤坂中野	鈴木則男 西山
			
芳賀芳雄 赤坂東野	芳賀五郎 渡瀬	鈴木清孝 青生野	舟木久 赤坂西野

## 農地利用最適化推進委員

名前の下に担当区域を表記

			
矢吹弘 赤坂西野区	阿久津健一 西山区	鈴木幸男 赤坂中野区	芳賀博文 赤坂東野・石井草区
			
國島敦志 富田区	菊地常夫 渡瀬区	岡部明 青生野区	

村農業委員会農業委員および農地利用最適化推進委員の募集が、3月1日から4月30日まで行われ、農業団体などからの推薦により、農業委員と推進委員がそれぞれ選出されました。

7月20日、農業委員の辞令交付式が行われました。辞令を受けた8人の農業委員の任期は令和5年7月19日までの3年間です。

また、改選後の初総会が同日、役場議場で開かれ、会長に藤田浩之さん、会長職務代理者に鷲野谷重一さん、そして7名の農地利用最適化推進委員が委嘱されました。

今後、委員会は総会や研修会のほか、11月上旬～中旬に農地パトロールを予定しています。

☎ 49-3113  
村農業委員会事務局

# 美しい農村を次世代に残す

7月1日から3日に、5期目の「中山間地域等直接支払制度(以下、直接支払制度)」の申込受付が行われ67の集落から申し込みがありました。

【表】第4期最終年度の状況 (令和元年)

協定数	67集落
協定者数	857人
交付額	91.8百万円
協定面積	710ha
	(田) 597ha
	(畑) 54ha
	(草地) 59ha

※協定者数は非農家を含む



田や畑などの農地は、米や野菜などの食糧生産の場だけではなく、貯水機能や洪水防止、緑豊かな里山の景観を提供するなど、大切な役割を果たしています。

## 集落を支援する 直接支払制度4期目が終了

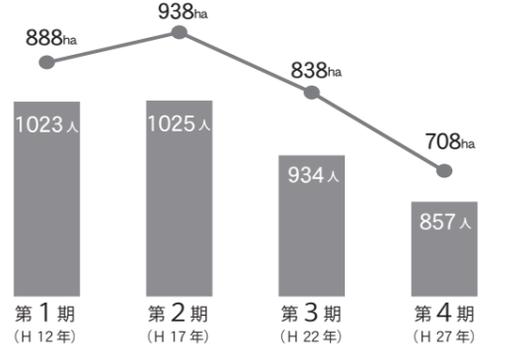
直接支払制度は、中山間などの農業条件が不利な地域を対象に、農業がもたらすさまざまな機能の維持・確保や耕作放棄地の防止のために実施されるようになった国の制度です。平成12年から取り組みが始まり、参加集落には条件や面積に応じて交付金が支払われます。

4期目計画(平成27年～令和元年)では村内から67集落が参加し活動しました。【表】

## 今後の集落の 持続可能性を探る

5期目の計画開始にともな

【図】直接支払制度の参加者数と面積推移



い、第5期対策の期間を越えても農業生産活動が継続されることを促すために、体制整備(単価(10割単価)の要件が「集落戦略の作成」に一本化されました。

制度が始まってから20年が経過し、中山間地域の人口減少や高齢化がより深刻になっ



集落の活動は水路・農道などの管理活動、景観作物の作付けなどの農村景観保全活動

ています。6年後、10年後を見据えた将来像を明確にして、集落の持続の可能性を考えていかなければいけません。

村内でも取り組みの主体は60代から80代です。制度が始まった頃から実施している人が大半で、計画ごとに参加人数は減少しています。【図】

美しい鮫川の農村風景を次の世代に残すためにも、この取り組みを次の世代にどのようにつなぐのか、集落が一丸となって考えなければいけない局面になっています。

☎ 49-3113  
村農林商工課農政係

第4次振興計画後期基本計画に意見する

村づくり委員会発足

第4次振興計画後期基本計画（令和2年～6年）の策定に向けて、村民の声を取り入れることを目的に村づくり委員を募集しました。選出された10人の委員と今後、村の将来像を描いていきます。

各分野の意見を求める

第4次振興計画後期基本計画の策定のための村づくり委員会が7月1日に発足しました。

一般公募により選出された10人の委員は、振興計画に示されている「生活環境」「生活基盤」「産業」「保健・医療・福祉」「教育・文化」「協働・行財政」の各分野に沿って、これから取り組むべき施策などを検討し、村に提出します。

提出された意見は、今年度中に策定を予定している振興計画の後期基本計画に活用されます。14日に開催した第2回委員会では、2040年問題（※）を

再確認したうえで、委員がそれぞれ興味のある分野を中心に考えをまとめ、意見を交えました。

将来を想定した計画づくり

第3回以降の委員会では、村の将来の人口や資源などの持続の可能性を考慮したうえで、これから村が目指すべき将来像を考えます。

☎ 49-3111

- 【福祉】▶健康で自立して元気に100歳を迎えられるような生活を推進していく。▶60代の再雇用の充実などにより、子ども食堂など、高齢者と子どもがふれあう場の創出を図り、シニア層のますますの活躍を促し、介護予防へと移行するシステムづくり。
- 【教育】鮫川ならではの教育プログラムの編成。▶高水準な教育環境の整備に力を入れる。
- 【里山・景観維持】▶環境公社設立により、中山間の取り組みや景観の維持を図る。▶防犯カメラを設置し、ごみの投棄ばかりだけでなく、農機具盗難の対策を行う。
- 【農業】農地の集約化を図り、農業の大型化や機械化が急務。▶たけのこやふきなど、村にあるものすべてを収入につなげる仕組みづくりや販路の改革が重要。
- 【上下水道】▶地区ごとに水道設備を整備するなど、自分たちで維持活動ができるように推進していった方がよい。

●第2回委員会で出た意見（一部抜粋）

人権擁護委員に  
下重三男さん（関口）

令和2年7月1日付けで、人権擁護委員に下重三男さんが法務大臣から委嘱されました。任期は令和5年6月30日までの3年間です。人



権擁護委員は、地域の人の人権相談を受け付け、問題解決のためのお手伝いなどをを行います。

固定資産評価審査委員に  
中川西安男さん（石井草）

令和2年7月20日に固定資産評価審査委員会が役場会議室で行われ、中川西安男さんが任命されました。（2期）



固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）について不服がある場合には、既定の手続きにより、固定資産評価審査委員会に審査の申出をすることが出来ます。

全袋検査からモニタリング検査に移行

米の検査方法が変わります

令和2年産米から村内産の米の検査は、全袋検査からモニタリング検査に移行します。これにより、検査方法が緩和され、バーコードラベルの貼り付けは不要になります。

全袋検査からモニタリングへ

県は平成24年産米から県産米の安全性を確保するため、県内で生産された全ての米を検査する全量全袋検査を行ってきました。その結果、平成27年産米以降

5年間、基準値を超える米は検出されなかったため、今年度より一部地域（避難指示のあった12市町村）を除いてモニタリング検査に移行します。

検査結果をお待ちください  
村内産米のモニタリング検査の結果が出るまで、無償譲渡を含め、米の出荷・販売の自粛をお願いします。  
検査結果は、県のホームページなどで確認できます。  
☎ 49-3113

平成24年9月までに生まれたお子さま

医療費受給者証の更新が必要です

子ども医療費助成制度は0歳から18歳までのお子さまが、病気がやがで医師の治療を受けたときにかかる費用の一部を助成する制度です。助成を受けるためには、村が発行する「子ども医療費受給資格証」が必要です。平成24年10月1日の規則改正

にともない、改正前に生まれたお子さまは受給資格証の更新が必要です。平成24年9月30日以前に発行された受給資格証を持っている人は、村住民福祉課健康係までご連絡ください。  
☎ 49-3112

コロナ太りをなんとかしたいあなた！トレセンに来ませんか

さめがわスポーツクラブでは、村のスポーツ振興や健康なからだづくりを支援しています。

会員の皆さまには、子ども向けのスポーツから大人向けの本格的なフィットネスまで、さまざまなスポーツ教室を用意していますので、ぜひご利用ください。

☑ 特定非営利活動法人さめがわスポーツクラブ  
(村農業者トレーニングセンター内) ☎ 49-3295



エアロビクス教室



ヨガ教室

# 災害対策

## 今、わたしにできること

災害はいつどのようなようにして私たちに訪れるかわかりません。日頃から災害を想定して避難方法や緊急時の連絡方法、持ち出すものなどの確認をして、自分や大切な家族を守るための準備を心がけましょう。



### 自助から始める災害対策

「自助」とは、一人ひとりが自分の身の安全を守ること。周囲の人と助け合う「共助」を行うためにも、まずは自分の家の安全対策や災害時の身の安全



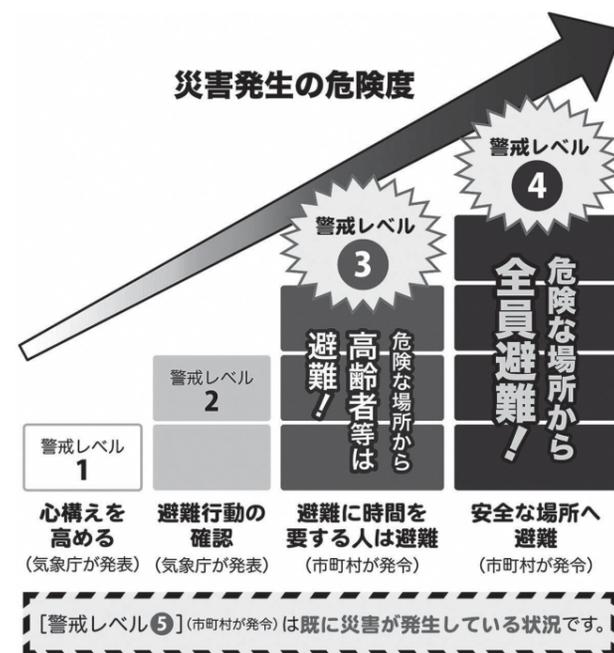
土砂崩れや河川の氾濫により多くの被害をもたらした昨年の台風19号災害

の守り方など必要な対策を講じることが重要です。

### step 1 避難のタイミングを知る

災害時には防災無線やテレビ・ラジオ、携帯電話などで情報を確認しましょう。村はメールによる情報配信も行っています。(事前にホームページから登録が必要) 令和元年6月より、水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災情報が5段階の「警戒レベル」に整理されました。「警戒レベル3」「警戒レベル4」が発令されたら、すみやかに避難してください。

【図】警戒レベルと避難行動



警戒レベル3では、避難に時間を要する人(高齢者、障害のある人、乳幼児など)とその支援者は避難しましょう。警戒レベル4からは全員避難です。安全な場所へ速やかに避難しましょう。(図は政府広報オンラインより引用)

## 非常時の持ち出し品 チェックリスト

- 食料品
- 飲料水
- 体温計・マスク
- 医療品(常備薬)
- 携帯電話・充電器
- 貴重品(現金・通帳・印鑑など)
- 衣類
- タオル
- 生理用品など

避難の際は火の元と電気ブレーカーを確認しましょう

### 村役場災害時対応電話

☎ 49-3302 ・ ☎ 49-3303

※災害時対応電話は、災害発生時に代表電話が繋がらない場合にご利用ください。



災害時にすぐに持ち出せるように準備しておくことも大事。食料品は消費期限にも気をつけてください

### step 2 避難方法を確認する

事前にハザードマップで危険な場所などを確認しましょう。避難所は、村が指定する避難所のほか、安全な近くの身内や知人宅を利用する方法もあります。避難所に向かう際には、運動靴などの動きやすい服装で避難してください。また、あなたが避難したことが後から来た人にわかるようにしておくことも大切です。玄関扉などにメモを貼るなどして伝えましょう。一人暮らしの人は、近所の人などに声をかけてから避難してください。



ハザードマップはふるさとの四季カレンダーや村ホームページで公開しています

### step 3 できることから準備する

夜間の避難は周囲の状況が分かりにくく、かえって危険な場合もあります。災害状況に応じて家の2階や山側と反対側の部屋に移動しておくことも避難方法の一つです。

「非常時の持ち出し品を整理する」「家族との連絡方法を確認しておく」「隣近所と災害時の行動を確認しておく」など、事前に災害を想定して準備しておくことが重要です。

ほかにも国土交通省が作成している「防災ポータル」は、さまざまな防災・災害情報を一元化し、公開しているのでおススメです。

関村総務課総務係 ☎ 49-33111



「防災ポータル(国土交通省)」<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html> 様々な防災・災害情報を一元化し、「今から知っておくべき情報」と「災害時に見るべき情報」に整理したポータルサイトです。スマホからでも閲覧できます。

## 令和2年7月 豪雨災害の被災者支援 義援金を受付中

日本赤十字社福島県支部鮫川村分区では、令和2年7月の集中豪雨により甚大な被害を受けた地域の方々を支援するため「令和2年7月豪雨災害義援金」の受付窓口を役場住民福祉課に設置しました。  
設置期間 令和2年7月7日(火)～令和2年12月28日(月)  
☎ 村住民福祉課 ☎ 49-33112



かしわの葉集めから餅づくりまで男性陣も活躍する広畑サロン

## 夫婦で楽しくかしわ餅づくり

各地域のサロンも再開しました

7月12日、東石区集落センターで開催された広畑サロンでは、かしわ餅を作りました。参加した7人は雑談を交えながら和気あいあいと作業を楽しみました。

村社会福祉協議会（☎49-3600）では、このような地域サロンの立ち上げを支援しています。5人から実施できますのでお気軽にご相談ください。

## 獣害対策に活用してほしい

県農業共済組合が箱わなを貸与

県農業共済組合は7月15日、獣害対策のために村と箱わなの貸与契約を締結しました。貸与期間は5年間で、期間満了後に箱わなは村に無償譲渡されます。渡辺義夫副組合長理事は、「村の農業振興に役立ててほしい」と話します。貸与された箱わなは今後、村の鳥獣被害対策実施隊によって設置・運用されます。



渡辺理事（右）と契約を交わす関根村長（中央）

## 安全運転を呼びかける

交通安全 TENT 村を実施しました

交通安全協会 鮫川支部と村交通対策協議会では、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動期間中の7月16日、宿ノ入交差点と中野町交差点付近で「交通安全 TENT 村」を実施しました。会員はドライバーにチラシなどを配りシートベルトの締め忘れの注意や、運転中に携帯電話を使用しないなどの声かけをしました。



ドライバーに安全運転を呼びかけました

## ブルーベリー上手にとれたよ!

こどもセンター園児がブルーベリー狩りを体験

さめがわこどもセンターのブルーベリー狩りは7月20日、小林輝男さん（葉貫）が所有する畑で行われました。

参加した園児らは「おいしー!」とブルーベリーを夢中で頬張っていました。お土産用にたくさんの実を摘み、「いっぱい取れたよ!」と容器いっぱいのブルーベリーの実を見せては満足気な表情をしていました。



夢中になってブルーベリーを頬張る園児



放水や礼式など新入団員は先輩団員から指導を受けました

## 団員の心構え学ぶ

鮫川村消防団 新入団員規律訓練

村消防団新入団員規律訓練および消防資機材取扱講習会は7月5日、村青少年広場で行われました。訓練には2年目までの新入団員14人を含む村消防団員144人、棚倉消防署鮫川分署員、消防資機材メーカー担当者が参加。新入団員は瀬谷鮫川分署長から団員としての心構えを学んだ後、礼式や消防操法の指導を受けました。



消防資機材の取扱講習も併せて実施しました



こどもセンターの園児と安全祈願を行いました

## 運動不足はプールで解消!

村農業者トレーニングセンターでプール開き

村農業者トレーニングセンターで、7月1日、プール開きと安全祈願が行われました。コロナの影響により例年より約1か月遅れとなったプール開き。この日、こどもセンターの年長児18人がプールを利用し、追いかけっこや水をかけあってプールを楽しみました。トレセンプールは9月6日まで利用できます。 ※夜間プールは8月19日まで(月曜日とお盆期間を除く)

## 木製のイスづくりに挑戦

チャレンジスクール木工教室を開講

村内の小学生を対象にしたチャレンジスクールの木工教室が7月10日、村公民館で行われました。参加した小学校1年生から5年生の23人の児童たちは、木製の部品を一つひとつ組み立て、釘を打ち、自分だけのイスを作り上げました。併せて木製ベンチも作成し、村民の店すまいると保健センター、修明高校鮫川校前バス停に設置しました。



丁寧に釘を打ち付ける児童

# 鮫川職場探訪記

- 第37回 -

## 居酒屋未鈴

代表 鈴木 孝宏  
所在地 大字赤坂中野字道少田 46-6 ☎49-3817

### 夢に見た地元での開業

村内でお酒を飲める貴重な場所の一つ、居酒屋未鈴は平成20年にオープンしました。昭和の雰囲気がある店内はどこか懐かしい安心感があります。

両親が共働きで兄弟のご飯を作る機会が多く、その頃から調理の道に興味があったと言う店主の鈴木さん。「私は大阪の専門学校で本格的に調理を学び、卒業後はホテルの調理担当に勤めて腕を磨きながら、いつか地元で店を持つことを夢に見ていました。しかし、開業の機会はあまりに突然やってきたので最後は勢いでしたね」と開業をふり返ります。

### こだわりの昭和の雰囲気

店内の昭和を思わせる看板などは鈴木さんの趣味。中には手に取りにくい貴重なものもあり、一つひとつ探して集めたそうです。「古



1\_炭火で焼きあげる店主こだわりの焼き鳥/2\_要望に応じてすかさず登場したアツアツのカキフライ。旬に合わせてメニューが変わります/3\_カツオのたたき。お供のビールは欠かせません/4\_店内は昭和のレトロな雰囲気が漂います/5\_昔懐かしい赤電話。コレクションは見ているだけでわくわくするものばかりです

い家屋を解体するときなどときどき見つかるんです。私がこういうのを好きだと知っている知人が見つけて譲ってくれることもありますね」と言って鈴木さんは笑います。そういう面白い品を見て回るのも未鈴の魅力です。

### 地域げんき商品券が使えます

15日に配布された商品券は未鈴でも利用できます。「コロナの影響は大きいので村の支援策は助かります。真心込めた料理を提供しますので、この機会にぜひうちも利用してみてください」と鈴木さんは呼びかけます。

これまでの人生を振り返るといろいろありましたが、ゴルフほど私の人生に影響を与えたものはありません。兄が持ってきた1本のドライバーから始まったゴルフは、半世紀経った今も私の生活の一部です。初めて出場した月例大会の優勝から始まった競技ゴルフでは、夢だったクラブ選手権の優勝も果たすことができました。私生活の辛かった時期もゴルフのおかげで前向きになることができ、一緒にプレーしてきた皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。しかし、私も気がつけば70歳。技術にはまだ自信がありますが、体力の低下は否めません。昨年出場した

村民【随想】リレー — (265)

## 佐藤 信夫さん

### 私は幸せです

全国大会を最後に競技ゴルフの第一線から退くことを決めました。現在はありがたいことも要望をいただいたものから、ゴルフ塾を開講して私がこれまで培った技術を伝えることに力を注いでいます。趣味のゴルフとして、まだまだ皆さまのお世話になりそうです。時間の余裕も少しずつできてきたので、若い頃から好きだった絵もまた描き始めました。この年になっても好きなことをやらせてくれている女房には感謝しかありません。私は幸せです。

次号は、石井良夫さん(酒垂)にバトンタッチ!



さとう・のぶお ● 1950年3月生まれ。趣味は、ゴルフ、日本画、水墨画。「色の無い世界の中に染まらない純朴さやモノの本質を感じることができます」と水墨画の魅力を話す佐藤さん。赤坂西野字火打石。70歳。

### 俳句

梅雨晴れや猫の一匹通らない  
中井 恒峯

他人事と思えぬ災害泥まみれ  
北條素人坂

杖歩行妙薬にして夏向かう  
松本 精一

コロナ禍にアマビエ模様夏マスク  
山本 恵子

梅雨寒や「三密避けよ」という暮し  
鈴木 米子

コロナ禍や晴耕雨読桐の花  
斎須 信子

八月や征きて還らぬ兄思ふ  
山本五十鈴

### 短歌

朝一番ラジオと歌う発声でひと日心と身体すこやか  
鈴木イミ子

たちこめる濃霧の中に何やらを伝えて飛べる山鳩一羽  
須藤 幸子

雨上り山の木々連日に映えて空いっぱい香り放つ  
前田喜三子

香りたつ菖蒲の風呂にゆったりと手足を伸ばす田植済みたり  
関根キヌ子

リモートでなじみの友と居酒屋とビール片手にパソコンの前  
赤坂 和子

病院の待合室は皆マスク会話も無くてただ順番を待つ  
矢吹 一二

落ち着かず「奥の鮫川」記念号心離れず日々を過ごせり  
北條 平

広報さめがわではみなさんの俳句・川柳・短歌などの作品を募集しています。掲載の相談は村総務課広報担当まで。村総務課 ☎49-3111

## 図書館の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介  
 鮫川村図書館 ☎ 29-1150

### 空ニ吸ハレシ15ノココロ

園田由紀子著、PHPエディターズ・グループ



おばあちゃんと孫が、互いの価値観を交錯させながら、互いの新生活を励まし合ってきた、実際に

あった話をベースに作られた物語です。孫を想うおばあちゃんと、おばあちゃんを想う孫の交互にやり取りされた手紙は、ほほえましく、温かい気持ちであふれています。

## 自衛隊防災BOOK

マガジンハウス



いつどこで起こるかわからない災害。いざというときに、私たちを助けてくれる危機管理のプロ自衛隊。人命救助はもちろんのこと、食料の確保や給水、緊急措置など、災害時のトラブルに対処するさまざまなテクニックやアイデア。ピンチに役立つノウハウを紹介しています。



第3土曜日は  
 家族一緒に読書の日  
 ←新着図書はコチラ

## 暗きよ排水工に補助します

村は水田の作付け条件を改善し、水稲および転作作物の安定生産を図るため、水田の暗きよ排水工にかかる費用を補助します。  
**対象** 国県など補助事業で実施できない水田の暗きよ排水工  
**補助額** 1mあたり750円  
**申し込み** 水田の地番と面積、暗きよ排水工を実施する延長を把握したうえで、村地域整備課でお申し込みください。

☎村地域整備課 ☎ 49-3114

## 特別定額給付金 申請期限は8月12日

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策「特別定額給付金」の申請手続きはお済みです

か。申請により世帯員1人あたり10万円が支給されます。まだお済みでない人は早急に申請してください。

**申込期限** 令和2年8月12日(水)まで

**申込方法** 各ご家庭の世帯主宛てに送付した申請書に必要事項を記入し、申請者(世帯主)の「本人確認書類」と「振込先口座確認書類」の写しを添えて、郵送により申請してください。

☎村総務課 ☎ 49-3111

## コロナの影響で納付が困難な方

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入源となる業務の喪失や売り上げの減少などが生じて所得が相当程度まで下がった場合、特例措置として簡易な手続

## 村関係施設の盆休み

	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
	日	月	火	水	木	金	土	日
役場	※1	※1	○	○	○	○	※1	※1
診療所	休	休	○	○	休	休	休	休
図書館	○	休	○	○	○	○	○	○
トレセン	○	○	昼間だけ開館(夜間プール休み)				○	○
手・まめ・館	○	○	○	○	○	○	○	○
すまいる	○	○	○	○	※2	※2	○	○
さざり荘	○	○	○	休	○	○	○	○

(※1) 日直が対応します。死亡届など緊急を要するものは受理できますが、証明書などの発行はできません。(※2) 土日と同様の営業時間です。(9時~18時)

きで国民年金保険料の免除申請が可能です。

**対象** 新型コロナウイルスの影響により収入が減少し、令和2年2月以降の所得などの状況から見て、当年中の所得の見込みが、現行の国民年金保険料の免除等に該当する水準になることが見込まれる人

**申込方法** 申請書と所得の申立書(簡易な所得見込み額の申立書)を用意して、年金事務所または村住民福祉課住民係までお申し出ください。

☎ねんきん加入者ダイヤル ☎ 0570-003-004 / 白河年金事務所 ☎ 0248-27-4161 / 村住民福祉課住民係 ☎ 49-3112

## 県政世論調査にご協力ください

県は、県民の皆さんのご意見を今後の事業に役立てるための調査を実施しています。県政のための大切な調査です。ご協力をお願いします。

**対象** 県内に住む15歳以上の男女1300人

**調査内容** 復興などに関する情報発信、キャッシュレス決済サービス、安全安心な県づくり、県総合計画など33項目

**調査方法** 郵送で調査用紙を送付しています。8月4日(火)までに回答をお願いします。

☎県庁県民広聴室 ☎ 024-521-7013

## 地域包括支援センター 出前講座の案内

村地域包括支援センターで実施している出前講座をご存知ですか。地域の寄り合いなどで、皆さまの興味のある話題などを講座として説明することができます。費用はかかりませんので、ぜひお気軽にご利用ください。

**内容** ▶介護予防 ▶認知症 ▶認知症サポーター養成講座 ▶アドバンス・ケア・プランニング(終活) ▶消費者被害 ▶高齢者虐待など、その他のテーマについてご相談ください。

**対象** 鮫川村内の人5名以上からご利用できます。

**費用** 無料  
 ☎村地域包括支援センター(ひだまり荘内) ☎ 29-1233

## 寄付・寄贈 6月受理分・敬称略

▶社会福祉事業のために[金員]…松崎文男(戸草) 蛭田誠(関口) 佐藤博(遠ヶ竜) 鈴木市恵(新宿) 山形敏(東京都) 穂積信次(鎌木田) ▶自然環境の維持、保全および整備に関する事業のために[金員]…及川令子(郡山市)

第33回 修明高校鮫川校だより  
 ここから、いっしょに

文・写真/修明高校鮫川校  
 TEL 49-2029 FAX 49-3109  
 E-mail shumei-h-samegawa@fcs.ed.jp



私たちは、授業の一環として、手・まめ・館を見学させていただきました。自分が住むこの鮫川村を、他地域の皆さんにどのようにアピールするかを考え、実践していくことを目的とした学習です。商品陳列の方法や、パッケージの工夫、お客様の来館状況などについて教えていただきました。

【学校コメント】車で村外から訪れた方にとって、手・まめ・館は立ち寄りやすく、利便性の高い施設とみえるようです。地域の魅力をアピールしていくための方策を、今回の経験も活かし、さらに探究していきたいところです。

鮫川村役場 (代表・総務課) ☎ 0247-49-3111 FAX 0247-49-2651

■鮫川村公式ホームページ <https://www.vill.samegawa.fukushima.jp/>

住民福祉課 49-3112  
 農林商工課・農業委員会 49-3113

地域整備課 49-3114  
 議会事務局 49-3115  
 出納室 49-3116



災害時対応電話(停電・災害時)  
 49-3302・49-3303

教育委員会 49-3151  
 図書館 29-1150  
 鮫川小学校 49-2005  
 鮫川中学校 49-3101  
 こどもセンター 29-1010  
 学校給食センター 49-2113

保健センター 29-1231  
 国保診療所 49-2028  
 ひだまり荘 49-3600  
 ゆうきの郷土 49-3474  
 農業者トレーニングセンター 49-3295

手・まめ・館 49-2556  
 さざり荘 49-2205  
 ほっとはうす・さめがわ 48-2555  
 鹿角平観光牧場 48-2010  
 すまいる 57-6901

お誕生

6月届け出分・敬称略

住所氏名性月日保護者

お誕生はありませんでした

おく  
やみ

6月届け出分・敬称略

住所氏名	性	月日	年齢
戸草 松崎 ツヤ		6. 1	90歳
関口 蛭田 和彦		6. 2	65歳
遠ヶ竜 佐藤 一		6. 6	85歳
新宿 鈴木 ミネ子		6. 18	86歳
鎌木田 穂積 一男		6. 26	84歳

人の  
動き

7/1現在・（ ）は前月比

人口	3,233人	(-7)
男	1,638人	(-3)
女	1,595人	(-4)
世帯	1,076戸	(-2)

施設営業時間と定休日

国保診療所	8:30~12:00 土・日 13:30~17:00 祝日
図書館	9:30~18:00 月曜・祝日
農業者 トレーニングセンター	9:00~22:00 月曜・祝日
農産物加工・直売所 手・まめ・館	9:30~18:00 第一・第三 水曜
村民保養施設 さざり荘	10:00~20:00 水曜
村民の店 すまいる	9:00~19:00 土曜日 18:00まで 日・祝日は

※新型コロナウイルスの影響により、営業時間を変更する場合があります。

編/集/後/記

■オオムラサキは役場前のケージで飼育しています。幼虫をケージの中に離すのですが、その中で蝶になれるのは半分もないという事実をご存知ですか。オオムラサキは雑木林の高い場所を飛ぶため、野生の蝶は私も見たことがありません。しかし、成長の背景を知ることによってケージの中のオオムラサキにも感動を得ることができました。(西橋)

暮らしのカレンダー

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
2	3
⑤大木医院(棚倉町) ☎33-2424	●図書館臨時開館日 ④診療所送迎 村内全域
第1日曜日は環境美化の日	
9	10
⑤深谷クリニック(棚倉町) ☎33-3223	⑤山の日 ⑤車田病院(埜町) ☎43-1019
16	17
⑤おおひら整形外科クリニック(棚倉町) ☎33-9468	●村国保診療所休診日 ●図書館臨時開館日 ●3~4か月児健診
23	24
⑤埜厚生病院(埜町) ☎43-1145	④診療所送迎 村内全域
30	31
⑤木村医院(矢祭町) ☎46-3528	④診療所送迎 村内全域

今月の納税  
納期限：8月31日(月)

村県民税(第2期)、国民健康保険税(第3期)、  
介護保険料(第3期)、後期高齢者医療保険料(第1期)

④村内全域 診療所送迎車運行日 ※予約は前日まで

乳保 やまゆり乳児室・保育室 [こ]

筋力づくり教室 [保]

あおぞら号昼バス運行日

August  
8

火	水	木	金	土
				8/1
4	5	6	7	8
④診療所送迎 西野・西山 ●筋力づくり教室 Dコース[保]	④診療所送迎 中野・東石	④診療所送迎 青生野 ●やまゆり乳児室 [こ] ●やまゆり保育室 [こ] ●筋力づくり教室 Eコース[保]	●村国保診療所休診日	
11	12	13	14	15
④診療所送迎 西野・西山	④診療所送迎 中野・東石	●村国保診療所休診日	●村国保診療所休診日	
18	19	20	21	22
●村国保診療所休診日 ●筋力づくり教室 Aコース[ほっとはうす]	④診療所送迎 中野・東石	④診療所送迎 青生野 ●小・中学校・幼稚部 [こ] 第2学期始業式 ●7か月児・10か月児健診 ●心配ごと相談会 [公]	④診療所送迎 富田・渡瀬 ●筋力づくり教室 Bコース[ほっとはうす]	
25	26	27	28	29
④診療所送迎 西野・西山 ●幼稚部第2期始業式 [こ] ●筋力づくり教室 Cコース[ほっとはうす]	④診療所送迎 中野・東石 ●やまぶきの会 [保]	④診療所送迎 青生野 ●筋力づくり教室 Dコース[ほっとはうす]	④診療所送迎 富田・渡瀬 ●筋力づくり教室 Eコース[ほっとはうす]	

⑤=休日当番医 [公]=公民館 [図]=図書館 [保]=保健センター [ト]=農業者トレーニングセンター [こ]=こどもセンター

毎月8日は歯の日です  
防災無線で虫歯予防を呼びかけます

鮫川中学校 2年

水野谷花菜さん、小林拓斗さん、北條煌大さん、藤元蓮さん

今月の担当は、  
鮫川中学校 保健給食委員です!

